

東古松サント診療所 デイケア新聞

2025年7月号

七夕そうめん

7月7日は、七夕そうめんを実施しました。利用者さんにも手伝ってもらい42人分の具沢山のそうめん井ぶりが完成しました。甘い椎茸、細い胡瓜、太い錦糸卵に、2020年につけた梅干しを添え、ぱりぱりのゴーヤが収穫できたのでサラダも作成しました。一口食べると「わあ・七夕の宝石箱」という人もいました(笑)。また廃棄予定だったブルーシートで「0円天の川」を作成して環境にも意識したイベントになりました。来年も透き通った星空が眺められるように、エコ活動を継続していきたいと思えます。



卓球大会

7月17日は、利用者自主開催の卓球大会を開催しました。9名の参加がありました。男性と女性で試合をする時はハンデをつけ、白熱した試合をおこなわれました。スマッシュなどいいプレーが出ると歓声があがり、とても盛り上がりました。総当たり戦でおこなうことで、普段交流がない利用者さん同士の交流も深めることができました。優勝者と準優勝者には、スタッフが制作したお菓子のトロフィーとメダルが贈呈されました。



お茶会

6月30日にお茶会を実施しました。今回はスタッフの指導を受けながら自分でお茶をたてる体験をしました。「抹茶たてるの初めて!」「自分でするのもいいなあ」と良い表情をされていました。「夏越の祓え」は、一年の半分の穢れを落とす意味があり、一年のちょうど真ん中にあたる6月30日におこなう行事です。蒸し暑くなる7月を前に厄払いをし、夏バテを予防する意味でも6月30日に水無月を食べるようになりました。作法など確認しつつ、自分でたてた抹茶と水無月を召し上がっていました。

